

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農業振興 班
事務事業名	農業公園整備促進事業		事業コード	31520

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	9年度
施策名	第2施策	特色ある都市農業の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市農業公園基本構想

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
本市農業は、収入不安定、担い手の高齢化・後継者不足、農地の遊休化・荒廃化など厳しい状況にある。農業公園は、農業経営基盤を強化し地域農業を活性化する拠点として、また、緑のまちづくりの拠点として整備をし、本市農業が魅力と活力のある産業として発展することを目指すものである。		市内農家、消費者、企業	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 農業公園整備に関するアンケートの集計・分析 違反転用者に対するアンケートの集計・分析 荒廃農地に対する新規施策の検討 市経営・生産対策推進会議への報告 2回 		地域特産物の生産振興を図るとともに、市民と「農」とのふれあいの場の拠点となる観光農園等を配置した農業公園の整備を促進します。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	3	1,952	9	142
	人員・時間数	1	1	1	1
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費	0	0	0	0
	合計	8,423	10,372	8,429	8,562
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか

評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：平成12年度に実施した農業公園整備促進マスタープラン策定業務の中で抽出された課題等の解決策を検討し、実現可能な整備方法等を早期に打ち出すことが必要である。

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由：本市の農業の置かれている状況は、収入の不安定、担い手の高齢化・後継者不足、農地の遊休化・荒廃化など厳しい環境にあり、これらに対応した農業施策の展開が求められている。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か

評価 B ▼	A : 妥当である	理由：現状、施設の整備にあたっては、多額の費用が見込まれているが、施設の適正規模を詳細に検討するとともに、PFI事業等の導入可能な整備手法について検討する必要がある。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由：事業内容が、市内農業の拠点施設の整備、違反転用農地の是正などであることから、市行政が中心となって取り組む必要がある。しかし、施設の一部においては、PFI事業等による整備の可能性もあるのであわせて検討する。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか

評価 B ▼	A : 満足できる	理由：アンケートの結果や農業者との懇談等の中では「早期に実現してほしい」「慎重にやってもらいたい」など賛否両論がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 B ▼	A : 有効である	理由：特色ある都市農業の推進という上位の施策とは合致しているが、事業の推進にあたっては農業関係者のニーズ等を確認しながら行う必要がある。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 農業公園基本構想策定から5年が経過。早期の実現を目指すには、段階的な事業の実施や規模の縮小等の見直しが必要である。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 整備する施設の適正規模等について詳細な検討を行うとともに、PFI事業等の整備手法の導入についても検討を行う。

7 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	あきる野市秋川ファーマーズセンターの平成13年度運営状況 年間来場者数30万1千人 売上4億6千万円 その他の類似施設としては、あけぼの山農業公園(千葉県柏市)、舞岡ふるさと村(横浜市戸塚)、農林公園ろまんちっく村(栃木県宇都宮市)などがある。
		説明 農業公園基本構想策定から5年が経過し、早期の実現が望まれるところであるが、本市農業のポテンシャルから見た導入施設規模の詳細な検討や、違反転用地の効果的な是正策を含めた新たな農地流動化策の検討などの課題がある。このため、導入機能の適正規模や段階的な事業推進の見直し等が必要である。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--